



わたなべ ひろみつ
渡邊 裕光

質問
QUESTION

整備をし身近な公園に

親しまれる公園へ

整備を進めます

〔生涯学習課長〕

安八町第五次総合計画では、若者や子どもたちを優しく包摂(ほうせつ)する町づくりの中に、公園・緑地などの整備ビジョンがあります。9月の広報あんぱちに掲載されていましたが、アンヒルパークの花壇

の植栽や清掃活動はボランティアによって行われています。アンヒルパーク(平成7年4

月完成)は出来上がってから25年がたち、メインのローラー滑り台のローラーは1232本あり、内不良が約200本あり回転しません。また、他の遊具も老朽化が目立ち、草木が生い茂り、害虫が発生する時期があったり、階段が崩れています。できた当初は多数の利用があり、町内外の人が遊びに来ていましたが、現在、新型コロナウイルスの影響もあり、ほとんど利用がありません。「町民が気軽に利用でき、健康づくり、交流の場として魅力ある公園にして欲しい」との指摘がありました。改善されていないように感じます。

質問
ローラーの取り替え修理を行う予定はありますか。

回答
ローラーは約200本取り替えが必要です。ここ数年、相当数のローラーの取り替えは行っています。今後も継続的な取り替えが必要になると思われます。他の遊具も老朽化し、何らかの修理が必要な状態です。今

後の修理など維持費の軽減を図るためにも、遊具のあり方も検討したいと思っています。

質問
公園全体の整備をどのように考えていますか。

回答
町の財政状況を見ながら、第五次総合計画の後期基本計画に沿った重要課題と位置付け、ボランティア

アの協力を得ながら、遊具や樹木などの適切な管理に努め、町民に親しまれる公園の整備を目指します。



修理が必要なアンヒルパークのローラー滑り台